

水道料金の改定

市民の皆さんに安全で安心な水道水を提供していくためには、配水管の更新や浄水場の整備などを計画的に行っていくかなければなりません。

しかし、節水意識の浸透や景気の低迷などにより、水道料金の収入が年々減ってきています。

このままでは計画的な水道施設の整備ができなくなるため、7月から水道料金の平均10%の値上げを行い、市民の皆さんにご協力をお願いしました。

市では、今後もさらなる業務の効率化に取り組みながら、安全な水道水を安定的に供給できるよう努めることにしています。

養護老人ホーム恵寿園を民間に移譲

昭和49年に開園した養護老人ホーム恵寿園は、施設の老朽化やバリアフリーの必要性など、入所者がより安心して生活するためには施設の大規模な改修が必要になってきました。また、介護保険サービスの開始などにより、養護老人ホームで生活しながら受けられるサービスの在り方が変化してきています。

そのため、4月から市内でケアハウスや介護保険事業などを運営する社会福祉法人に、恵寿園の運営を移譲することになりました。移譲を受け



▲ジョブガイドのぼりべつの自己検索機



▲ジョブガイドのぼりべつ



▲登別温泉児童室で遊ぶ子どもたち

た社会福祉法人は、現施設での運営と安心して暮らせる新たな施設の建設を市内で行うことになっており、入所者は社会福祉法人が提供するさまざまなサービスが、一体的に受けられるようになります。

登別温泉地区の子どもたち遊び場がオープン

登別小学校との校区一体化により、平成18年度で閉校した登別温泉小学校。この学校に通っていた子どもたちの遊び場の拠点施設として、登別温泉公民館の中に、児童館機能を持たせた登別温泉児童室を設置しました。

4月2日にオープンしたこの児童室には、本を読んだりする部屋とバドミントンなどの運動ができるホールがあり、児童厚生(指導)員1人を配置し、子どもたちの来館を待っています。

灯油購入費の一部を助成

原油価格の高騰が続ぎ、石油製品の価格が上昇しています。そのため市では、高齢者世帯や重度心身障がい者世帯、母子世帯で一定の要件に該当する市民税が非課税の世帯に、灯油購入費の一部を助成する「福祉灯油」を行うことにしました。

受け付けは、3月21日(金)まで行っています。

▼問い合わせ 社会福祉グループ

ジョブガイドのぼりべつがオープン

昨年7月、ハローワーク室蘭に登録する約4千500人の求職者のうち、約3割を占める市内の求職者の求職活動を効率よく支援するため、市とハローワーク室蘭が共同で、登別市地域職業相談室『ジョブガイドのぼりべつ』をアーニスの2階に設置しました。

ジョブガイドのぼりべつには、ハローワーク室蘭の職員2人と市の職員1人を配置し、職業相談や職業紹介などを行うほか、求人情報などを提供する自己検索機(パソコン)を3台設置しました。

豊かな緑の中であらいたい

生活様式が多様化し、自然豊かな地域に住宅を建設して、生活することを希望する方が増えています。

そのため市は、優良田園住宅建設制度を活用して『登別市優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針』を策定し、市街地調整区域に一定の条件を満たした一戸建ての住宅の建設ができる一つのルールを定めました。

屋根のある岸壁と海の陸揚げ

いま、国民の食に対する安全・安心への関心はとて高くなっています。